

バルカン超特急



海外特派員

“サスペンスの巨匠”

ヒッチコック 傑作選

2018.2.23 (FRI) 阿倍野区民センター 小ホール(地下1階)

“サスペンスの巨匠”

ヒッチコック 傑作選

ヒッチコックの“巧妙なマジック”に幻惑される。
完成度の高いサスペンス映画の醍醐味。

第二次世界大戦前夜のヨーロッパを舞台に、
ドイツの陰謀を暴く青年の活躍を描く傑作サスペンス!

バルカン超特急

海外特派員

官僚カレニンの妻アンナは才気あふれる魅力的な女性で、バルカンの避暑地バンドリカからロンドンへ帰る列車に乗る予定だった。しかし、列車が豪雪で立往生し、彼女は他の客と共にホテルへ避難した。

翌朝、ダイヤは回復し、出発の準備をしているアンナの頭に植木の箱が落ちてきた。幸い軽い傷ですんだが、その時列車で同室だったミス・フロイが前を横切ったのだった。車室で一眠りしたアンナが起きた時、ミス・フロイは消えていた。消失は事故か失踪か…アンナは数々の妨害の中、ミス・フロイ消失の謎を追求し始めた。

第二次世界大戦の直前、風雲急を告げるヨーロッパ。アメリカ人記者ジョニーは、オランダの政治家ヴァン・メアの取材を試みるが、彼はアムステルダムでの平和会議場前で突如暗殺される。

犯人を追うジョニーは追跡先の風車小屋でとらわれたヴァン・メアを発見する。殺されたのは替え玉で、全てがナチスの仕組んだ陰謀だった。

ロンドンに戻ったジョニーは平和運動家フィッシャーの娘キャロルとともに、ヴァン・メア誘拐事件を解決しようとするが…。



監督：アルフレッド・ヒッチコック
出演：マーガレット・ロックウッド
マイケル・レッドグレーヴ

<1938年/イギリス/
モノクロ/97分>



監督：アルフレッド・ヒッチコック
出演：ジョエル・マクリー
ラレイン・デイ

<1940年/アメリカ/
モノクロ/120分>

アルフレッド・ヒッチコック (1899年～1980年)

1899年8月13日ロンドンのレイトンストーン生まれ。

ヒッチコックが14歳の時に父親が死去し、ヒッチコックはケーブル会社の技術部門で働きながらロンドン大学の美術学科で絵の勉強をし、同社の広告宣伝部に異動する。その後、アメリカの映画会社フェイマス・プレイヤーズ・ラスキーのロンドン支社に映画のタイトル用イラストを売り込み、採用される。1920年にはイズリントン・スタジオで、サイレント映画のタイトルデザインを担当。

その後、グレアム・カッツ監督の下で脚本・助監督などを手がけた。

1925年に『快楽の園』で監督デビュー。

イギリス時代は『三十九夜』『バルカン超特急』など26作品を監督。その活躍はハリウッドから注目され、1939年にはデヴィッド・O・セルズニックと組んで『レベッカ』でハリウッドデビュー。アカデミー賞にも作品・監督賞など多くノミネートされる。

1980年にエリザベス2世よりナイトの称号を授けられ、4カ月後に80歳で死去。



2018.2.23(金)

- ①バルカン超特急 11:00-12:37
- ② 海外特派員 13:40-15:40
- ③バルカン超特急 16:00-17:37
- ④ 海外特派員 18:00-20:00

※2作品ともデジタル上映となります。

こちらのチラシご持参で3名様まで
会員価格でご鑑賞頂けます！

阿倍野区民センター 小ホール(地下1階)

〒545-0052
大阪市阿倍野区阿倍野筋4-19-118
● 地下鉄谷町線「阿倍野」16番出口反対側すぐ
● 阪堺上町線「阿倍野」下車徒歩2分

● 料金(1作) ●

会員価格 800円

当日(一般) 900円

(シニア割引・障がい者割引なし)

2作目は500円増し



● お問い合わせ ●

大阪映画センター TEL 06-6719-2233